

中長期課題の検討状況

背景と経緯

1. 「インターネットと当センターを取り巻く環境が変化している」との事実認識を持ちました。
2. 当センターの事業活動や業務運営が「環境変化へ整合しているかどうか」との問題意識を持ちました。
3. 2015年7月から理事会及び事務局で検討を開始し、分野毎の課題抽出を行いつつ、理事会での議論を経て具体的なテーマに関する検討・実践チームを立ち上げてきました。

基本的な考え方

1. 定款第3条に規定する目的(※)を堅持し、同第4条の事業を行う。

(※)この法人は、コンピュータネットワークの円滑な利用のための研究及び方針策定などを通じて、ネットワークコミュニティの健全な発展を目指し、学術研究・教育及び科学技術の振興、並びに情報通信及び産業の発展に資することにより、我が国経済社会の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

2. インターネットの絶え間ない発展に留意し、事業環境の変化(※)に適切に対応する事業活動と業務運営を目指す。

(※)経済活動における真のインフラ化、上位レイヤの活動の拡大、ユーザ視点の重要性増大、など

3. 一般社団法人として会員組織であることの原点(※)に立ち返る。

(※)会員であることの意義・意味を再考する、会員としての意見・要望に向き合う、など

4. 内外の知恵を活用して、常に進歩・改善を目指す。

検討課題の概要

事業活動と業務運営の観点から、次の4つの領域について検討しました。

1. 事業活動の領域（IPアドレス事業）

- ☆ 既存の事業領域（顧客対応の強化、業務運営の品質向上、等）
- ☆ 新規の事業領域（新規のサービス開発・提供等）

2. 事業活動の領域（インターネット基盤整備事業）

- ☆ 既存の事業領域（情報発信／調査研究／教育研修の強化、等）
- ☆ 新規の事業領域（新規のサービス開発・提供等）

3. 法人運営の領域（会員に関する事項）

- ☆ 既存の会員との関係強化
- ☆ 新規の会員獲得の取り組み

4. 法人運営の領域（組織と人材）

- ☆ 外部の知恵の取り入れ
- ☆ 役員・職員の活性化、新陳代謝

検討の進捗状況(1/2)

これまでのところ次のような検討状況となっています。

1. 事業活動の領域（IPアドレス事業）

★既存事業は顧客満足向上の取り組みと効果的業務運営に注力

★新たな事業検討に具体的に着手

（検討・実践チームの設置：abuse対策連携に向けたWHOIS-DB活用）

2. 事業活動の領域（インターネット基盤整備事業）

★既存事業は情報発信やガバナンス等の課題への取り組みを強化

★新たな事業検討に具体的に着手

（検討・実践チームの設置： JPNIC認証局の拡張に向けた検討）

検討の進捗状況(2/2)

3. 法人運営の領域（会員に関する事項）

★新たな取り組みに具体的に着手

（検討・実践チームの設置： 会員コミュニケーションの改善）

★新たな取り組みに具体的に着手

（検討・実践チームの設置： 新規会員獲得の施策を展開）

4. 法人運営の領域（組織と人材）

★外部の知恵を活用するため、評議委員会を刷新・再開

★役員改選において、フレッシュな候補者も推薦

まとめ

- 検討の成果は「事業計画への反映」「適宜なプロジェクトの立ち上げ」等の形で具体化していきます。
- 今後とも検討を継続していくとともに、会員の皆様からのご意見やご提言を歓迎します。